

社会福祉法人 上溝緑寿会

# 平成 29 年度事業計画

～目次～

法人全体の方針	…	<b>2</b>
ずっと我が家 上溝本町 [上溝 6-2-22]		
ショートステイ	…	<b>6</b>
デイサービス	…	<b>8</b>
ホームヘルプサービス	…	<b>10</b>
秋桜 [上溝 3172-1]		
グループホーム秋桜	…	<b>12</b>
デイサービス秋桜	…	<b>14</b>
星が丘 [星が丘 4-9-14(デイ)、3-6-21(包括)]		
星が丘デイサービスセンター	…	<b>16</b>
星が丘地域包括支援センター	…	<b>18</b>
上溝 [上溝 7-16-13]		
上溝地域包括支援センター	…	<b>20</b>
コスモスセンター [上溝 5423-5]		
居宅介護支援事業	…	<b>22</b>
コスモスホーム	…	<b>23</b>
コスモスハウス	…	<b>25</b>
栄養調理部門	…	<b>27</b>
総務事務部門	…	<b>28</b>

## 法人理念・ビジョン～私たちはめざしています～

### 人生は、いつでもあなたが主役です

～1日24時間、1年365日、住み慣れたところで、その人らしく生活することを

コスモスセンターはお手伝いします～

この目標を実現するために、私たちは次のメッセージをお送りします。

### ご利用者様、介護するご家族様に

私たちは、「介護が必要な状態になっても、できるだけ自分の生活を自分で決め、豊かに安心して生活していく」ことを援助したいと考えています。

そして、そのことをすべての職員が目標にしています。

そのために、

ご利用者様が「大切にしていること、したいこと」「今までこだわってきたこと」をどうぞご遠慮なくお伝えください。

「苦しいこと、辛いこと、困っていること」をどうぞお聞かせください。

全てにはお応え出来ないかもしれませんが、一つひとつの「想い」を大切に、できるだけお応えできるよう、私たちは努力してまいります。

### 一緒に働く・働こうとする仲間

介護、相談、医療など各分野で援助に関わる専門職として、「チームでご利用者とご家族を支える、1+1が3にも4にもなる、この実感を仕事の醍醐味とする」ことを目指します。

そのために、

「とことんコミュニケーションできる」「伝えようとする、伝えている」

「聴こうとする、解ろうとする」「何でも腹をわって話せる」「先を見ようとする、見える」仲間を求めています。

そして、みんなで、目標の実現に向けて一步一步、歩んでいきたいと思えます。

### 地域に

地域の皆さまが気楽に集える、交流できる、そして「いろいろな何か」が得られる場を、地域の皆さまとともにつくっていくことを目指します。

そのために、

私たちは地域の皆さまといろいろな場面でどんどん関わっていきたくと思っています。地域の皆さまもどうぞお気軽にお立ち寄りください、お声かけください。「介護の相談がなければ…」ということはありません。

小さな交流の種を「地域の皆さまとともに」たくさん育てていきたいと思えます。

※上溝緑寿会ホームページ(<http://www.cosmos-c.or.jp/>)の「法人理念・ビジョン」に掲載中

# 法人全体の方針

## 1. はじめに～平成 29 年度事業計画立案にあたり～

平成29年4月に本格施行される「社会福祉法」改正による新たな社会福祉法人制度では、社会福祉法人が地域に認められ、必要とされる自立した法人となるために、運営体制や組織体制を大きく変更することが求められました。これに伴い、平成28年度下半期にご審議いただいた改正定款は4月1日から施行されます。

社会福祉法人上溝緑寿会は、1994(平成6)年の法人設立、1996(平成8)年のコスモスセンター開設以来、地域の様々な方(自治会、地区社協等の役員、ボランティアの方、ご利用者、ご家族等)に運営に理事・評議員としてご参画いただくとともに、地域に開かれた施設づくりと施設運営にまい進してまいりました。

今回の社会福祉法改正は、今まで当法人が20年間実践してきたことの延長線上にあります。ご利用者を真ん中に、ご家族、地域の方、専門職である職員とともに今まで積み重ねてきたことに、新たな仕組みづくりや取り組みを加え、「地域共生社会」＝「誰もが主役となり、脇役となる地域」づくりの「核」のひとつを目指してまいりたいと考えます。

## 2. 平成 29 年度事業計画の重点項目

### (1) ずっと我が家ショートステイ部門のフルオープン(30名定員⇒40名)

平成29年度上半期のずっと我が家ショート部門の40名、4ユニットをフルオープンを実施します。フルオープンにあわせ、介護技術の向上やしごとの効率化を図り、機能訓練等サービス内容の充実・強化を目指します。

### (2) 我が家デイ、星が丘デイの事業内容の見直し

平成30年4月の介護保険制度改正に対応するため、中重度(要介護3以上)のご利用者への対応充実・強化を中心に、デイサービスの事業内容を見直します。

### (3) 総務部門の強化

スタッフ機能(各事業への情報提供等)を強化します。今まで十分ではなかつ

た、各事業ごと、各月ごとの人材、物品、会計情報を速やかにまとめ、各セクション責任者(事業管理者)に提供する仕組みを新たに作り、事業単位の経営判断情報が得られるようにします。

#### **(4) 組織の見直しと「事業管理者」(各事業の総責任者)等の育成(法人全体)**

ずっと我が家フルオープンやデイサービスの中重度対応に伴う、事業内容の見直しに対応する職員配置と異動を4月以降着手し、各事業への「事業管理者」の配置を平成29年度末までに目指します。このことにより、一つひとつの事業の体制を固め、平成30年4月改正に備えます。ポイントは以下のとおりです。

##### **①各事業の自律的運営力を強化する[平成29年度を通じて取り組む]**

1. 各事業への「事業管理者」の配置と、配置を目指した人材育成をおこなう。
2. 主任・リーダーの「チーム」「他セクション」「上下関係」とつなげる「結節点」としての役割を明確にし、その力を強化する。
3. 上記の二点について、

##### **②職員異動を充実する「人は動いてこそ育つ」**

全職員について「職員は移動する」を原則とする。特に援助職(介護、看護、相談)については、それぞれの経験年数に応じ、多様なご利用者の援助を実践できるように取り組む。(就業規則改正の上、5月より順次実施する)

#### **(5) 収益を確保し、職員のモチベーションと保つ仕組みづくり(法人全体)**

適正な収益を確保するために、稼働率を維持し、職員の適正配置と役割を整理し、一人ひとりの仕事の質の向上を目指します。

このために、キャリアパスや休日休暇制度の運用を、職員の意見を取り入れながら進めます。

##### **①適正人員の配置と仕事内容(役割)の整理**

正職員、契約職員の役割、責任分担を整理し、見込まれる収入に対して適正な人員での事業体制を組み立てる。

##### **②経費等の見直しと適正化**

法人内のリース機器類の経費とその共通経費按分や運営基準上のご利用者

の負担が適正な費用(食費等)についての見直しを行う。

待機者管理や空きベッドや空室期間を減らすように、管理ソフトを利用した運用を行う。

### ③キャリアパスの運用・休日休暇の取得

改正キャリアパスでは、主任・リーダーのメンバーマネジメントにおける「認め合い」からのチーム作りが大きなポイントとなる。

これに加え、職員が休日・休暇をバランスよく取得できるように、主任・リーダーが工夫する。

## (6) 社会福祉法改正への対応及び地域との連携

社会福祉法改正内容の施行に対応し、「評議員会・理事会の開催」、「さらなる事業運営の透明性の向上(経営内容の開示)」、「財務規律の強化」、「地域における公益的取組の実施」等に取り組んでまいります。

また、昨年度に引き続き、「上溝本久・コスモスセンターふれあいまつり」や「溝の朝市」、「星が丘フェスティバル」など、地域のさまざまな団体と協働してまいります。

## 3. 評議員会・理事会の開催について(平成 29 年度)

社会福祉法改正対応に伴い、本年度全体の評議員会・理事会開催日程は、6月までの日程案となっております。

平成 29 年 5 月 27 日(土) 決算理事会(現行理事・監事による)

平成 29 年 6 月 17 日(土) 平成 29 年度定例評議員会(決算承認・理事・監事選出)

同日 新理事会(理事長の互選等)(新理事の任期の開始)

地域での催しや施設の都合での変更もあり得ますので開催日は予定です。

議案の提案に際しては、できるだけわかりやすく提案するよう努力してまいります。

# ずっと我が家ショートステイ

## 1. 平成 29 年度事業計画

### (事業目標) フルユニット(4 ユニット)の安定的稼働を目指します

(取り組み内容)

#### (1) 基礎的な介護技術の向上を図ります

様々な状態を抱えた利用者に対して、適切にケアを提供していくことができるように個々の介護技術を向上していきます

##### ①現場の中で学んでいく(経験を積む)

都度、ミニカンファレンスを持ち計画と実行、その検証を繰り返していきます

##### ②研修を通じて学ぶ(理解を深める、定着させる)

外部研修へ参加し、他職員への研修報告会を実施します

内部研修を主体的に企画し実施していきます

##### ③ユニットリーダーを育成していく(チームを育てる力をつける)

ユニットリーダー向けの研修に参加していきます

ユニット会議を主催して、課題に対する計画、実行、評価の道筋を作ることができるようにしていきます

#### (2) 仕事の効率化を図り、入退所に伴う業務量の増加を抑えていきます

##### ①荷物準備・報告書類の内容について整理していきます

##### ②居室の片づけ・準備作業について作業を標準化していきます

##### ③家族送迎を推奨していく仕組みを作り、施設送迎量を抑えていきます

#### (3) 定期的に利用される方を増やしていきます

①ケアマネージャーを中心に、空き情報や直近の取組み内容について小まめに情報提供していき、新規利用につなげていきます。

②「機能維持・向上」を主体として日中活動の取組みを整理し、継続して利用してもらうための仕組み作りを進めます

## 2. 提供する事業量の目標

年間稼働率:90%以上（提供実績:対前年比108%）

実利用者数:120名(3ユニット) 140名(4ユニット)

新規利用者:年間 130名以上

### 主な年間スケジュール

月	日	事業・行事	日	研修
4		花見 (午前ラジオ体操/広場で実施)		
5		公園 散歩 菜園準備・開始		
6				事故防止委員会主催 (内部研修) ～ヒヤリハットを見つけていく～
7		上溝夏祭り		救急対応シミュレーション (内部研修)
8		花火大会		救命講習
9		敬老祝賀会		
10		運動会 芋煮会		
11		焼き芋・収穫祭 酉の市 参加		感染症対策研修～嘔吐時の対応～
12		クリスマスケーキ作り イルミネーション見学		
1		初詣 (参加希望のみ) 亀が池八幡宮 だるま市 見学 ・お汁粉作り		感染症対策研修～嘔吐時の対応～
2		節分 ～豆まき～ バレンタインデー クッキー作り 梅見学 ～相模原北公園～		(予定) ユニットリーダー研修 (武田)
3		もちつき (雑祭り)		

# ずっと我が家デイサービス

## 1. 平成 29 年度事業計画

次期介護報酬改定を踏まえて、経営基盤の安定を目指します

現在の利用者状況として、軽度者(支援1~要介護2)の方が80%以上を占めており、中重度者(要介護3~5)の方に焦点を当てたサービス内容へ変えていく必要があります

(1) 要介護3~5の利用者の割合を引き上げ、中重度加算を取得していきます

「機能維持・向上」をキーワードに身体・精神機能の維持・改善を図る基本動作を中心としたプログラムを整備し実施していきます。

(取組内容)

- ①(利用者の)現状把握から計画、実行、評価について取組む内容について職員が理解できる仕様書を作成します
- ②会議・ミーティング等を通じて各職員の知識・技術習得をすすめます
- ③一連の取組み内容に必要な書式類を整備します
- ④現状の一日の利用の流れを見直し、プログラムを取り組んでいく時間を決めていきます
- ⑤利用者に内容をわかりやすく説明していき、取り組む意欲を高めます
- ⑥家族にも取り組んだ評価を説明していきます
- ⑦ケアマネージャーに向けて取組み内容をまとめた資料を配布し PR していきます

(2) サービス提供時間の提供時間枠を「7~9時間」へ変更していきます

現行「5~7時間」枠でサービス提供を実施しています。「7~9時間」枠への変更により基本報酬単価を引き上げていくことができます

(取組内容)

- ①サービス提供時間の拡大に対して、必要となる職員の人員配置を見直していきます
- ②現提供時間よりプラス1時間の内容について、全体のサービス提供内容を見直しながら、一日のタイムスケジュールを変更していきます
- ③送迎時間の短縮など効率的な送迎体制を整備していきます



(3) 超過勤務時間を削減します

(取組内容)

- ①記録書類を見直していきます。重複して記載しているものは一括でまとめるなど事務作業の簡素化を図ります
- ②仕事内容を細分化し、タイムスケジュールに沿った無理、無駄のない人員配置を進めます

2. 提供する事業量の目標

□年間利用平均人数:28名

□中重度(要介護3~5)の実利用者割合 :全体の40%以上

□中重度(要介護3~5)の月別延利用者数:全体の40%以上

□超過勤務時間を前年比20%以上削減

主な年間スケジュール

月	日	事業・行事	日	研修
4	4-9	花見	6	デイ会議
	17-22	誕生会	12	全体研修
5		出張寿司	9	デイ会議:機能訓練
	22-27	誕生会		
6			8	デイ会議:熱中症対応・水分補給
	19-24	誕生会		
7			6	デイ会議:認知症
	17-22	誕生会		
8	31-5	納涼祭	10	デイ会議:身体拘束・虐待防止
	21-25	誕生会		
9	18-23	敬老祝賀会	7	デイ会議:救急対応
	18-23	誕生会		
10			5	デイ会議:感染症対策(ノロ・インフルエンザ)
	23-28	誕生会		
11			9	デイ会議:防災対応
	20-25	誕生会		
12	11-16	年忘れ会	7	デイ会議:食事介助・嚥下・事故防止
	11-16	誕生会		
1	10-16	初詣	11	デイ会議:健康管理・バイタルチェック
	16-21	誕生会		
2		鍋	8	デイ会議:
	13-18	誕生会		
3			9	デイ会議:
	20-25	誕生会		

# 我が家ヘルパー部門

## 1. 平成 29 年度事業計画

### (1) 利用者の自立につながる支援を行います

同じ利用者を複数のホームヘルパーで支援する時、それぞれが違った知識で対応しては、利用者が混乱してしまいます。チーム全員が正しい知識を共有すること・継続的に支援していくこと・同じ目的意識を持つことで、チーム一丸となった支援を目指します。

#### 1) 書式の見直しを行います

複数のヘルパーが異なる介助や支援を行うことがないように情報を共有しサービスに一貫性をもつことができる書式にします（依頼書・指示書等）

#### 2) ヘルパーのスキルアップを目指します

身体介護の依頼にヘルパー全員が対応できるよう、身体介護技術を強化します

認知症を正しく理解し、適切に対応できるようコミュニケーション技術を強化します

### (2) 研修を充実し事業所全体の総合力を高めます

#### 1) 外部研修

#### 2) 月1回 実技研修

ヘルパー会議終了後に行います

#### 3) 法人内研修

コスモスホーム・グループホーム秋桜で行います

### (3) 障がい者総合支援法の利用者を増やします

#### 1) 指定の拡大(精神障害・知的障害・難病)を検討します

#### 2) 制度の理解をすすめます

#### 3) 相談支援事業所等への営業を行います

### (4) 職員の確保

- ・ 全ヘルパー14人中6人が60歳以上になり、若い世代のヘルパーが必要です

## 2. 提供する事業量の目標

サービス提供責任者 1ヶ月の活動時間 100時間

### 主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	ヘルパー会議	10	ヘルパー会議
	個別研修について・接遇・プライバシー保護の研修		感染症の発生の予防と蔓延の防止について
5	ヘルパー会議	11	ヘルパー会議
	食中毒発生の予防と蔓延防止について		移動・移乗介助について
6	ヘルパー会議	12	ヘルパー会議
	病気と薬の知識について		認知症・認知症ケアについて
7	ヘルパー会議	1	ヘルパー会議
	非常災害時の対応手順について		認知症の事例検討
8	ヘルパー会議	2	ヘルパー会議
	記録について		・ヒヤリハット事例検討
9	ヘルパー会議	3	ヘルパー会議
	食事介助・口腔ケアについて		1年の反省 来年度の目標・研修について
※	年間を通じ、ヘルパー個別の研修を合わせて実施する。		

# グループホーム秋桜

## 1. 平成 29 年度事業計画

(1) きょういく(今日の行くところ)ときょうよう(今日の用事)のある暮らしを作ります。

- ①ご利用者が自由に外に出られる環境と閉じこもりがちにならない支援をします。
- ②ご利用者の力が発揮できるよう、やれること、出来ることに着目した支援をします。
- ③ご利用者の不安や心配事は、否定せず共感的に受け止めていきます。

(2)ご家族との交流を深め、協力関係を築きご利用者を支援します。

- ①年 6 回の行事や誕生会、衣替え等、ご家族に足を運んでもらえる機会を継続していきます。
- ②年 4 回の「秋桜便り」の発行を継続します。
- ③ケアプランの説明や、掛かりつけ医との面談を通じ、ご利用者の状態を共有していきます。

(3) 地域に根ざした事業運営をします。

- ①年 2 回の「地域交流事業」を継続します。
- ②畑、庭、や大正琴等のレクリエーションプログラムをボランティアの方々の協力を得て楽しみごとがある暮らしにしていきます。
- ③地域の方々の「認知症」に関する相談の窓口になり、適切な機関に繋げていきます。

(4) 認知症ケアにやりがいを持ち、働きやすい職場環境をつくります。

- ①認知症や認知症ケアについて、専門職としての知識を深めるために内外の研修にとりくみます。(正しい知識)
- ②個々の実践とチームとしての実践が融合していくために、職員間のコミュニケーションを深めていきます。

## 2. 提供する事業量の目標

年度を通じ、定員 18 名を維持します。

## 主な年間スケジュール

月	行事	研修
4	ご家族とお花見	緊急時の対応とマニュアルの見直し
		倫理規定法令順守に関する研修
	秋桜カフェ	職員服務規程
		プライバシーの保護 (4/12全職員会議)
5	鯉のぼり	接遇について
	バラ園	
	あじさい・菖蒲園	
	イチゴ狩り	
6	運営推進会議	食中毒の発生予防と対応について
	庭の手入れ	
	じゃが芋収穫	
	秋桜カフェ	
7	運営推進会議	事故の発生・再発予防と対応について
	地域交流事業(夕涼み会)	
	上溝夏祭りと家族会	
8	防災訓練	高齢者の虐待について
	田中盆踊り	
	秋桜カフェ	
9	敬老のお祝い会(ご家族と)	身体拘束等排除に関する研修
	大根・人参植え	
	ぶどう狩り	
10	バス旅行	終末期ケアについて
	運営推進会議	
	秋桜カフェ	
11	紅葉狩り	インフルエンザ、ノロウイルス等感染予防
	庭の手入れ	蔓延防止についての研修
	柿狩り	
	ふれあいまつり	
12	運営推進会議	
	地域交流事業	
	大根・人参収穫	
	秋桜カフェ	
	田中クリスマス会 クリスマス会	
1	新年のお祝い会	
	初詣	
2	防災訓練	非常災害時の対応について
	豆まき	
	運営推進会議	
	出張寿し	
3	運営推進会議	
	味噌作り	
	観梅	

# デイサービス秋桜

## 1. 平成 29 年度事業計画

(1) ご利用者の行きたいデイサービス、やりたいことのあるデイサービスにします。

- ①ご利用者の力が発揮できるよう、やれること、出来ることに着目した支援をします。
- ②個々の希望に沿ったレクリエーションプログラムを増やし、楽しみごとのあるデイサービスにします。
- ③ご利用者の心理行動症状を共感的に受け止め、粘り強く支援します。

(2)ご家族の負担が軽減されできるだけ長く在宅生活が維持できるよう支援します。

- ①家族懇談会を開催します。
- ②様々な機会でご家族との交流を深め、ご家族の不安や悩みの把握に努めます。
- ③臨時利用や、利用にあたってのご家族の希望にできるだけ沿っていきます。
- ④デイ秋桜便りの発行と、ご家族へのアンケート調査を継続します。

(3) 地域に根差した事業運営をします。

- ①地域の方々が、認知症について語りあい、交流できる場としての「秋桜カフェ」を年 6 回開催します。

(4) 認知症ケアにやりがいを持ち、働きやすい職場環境をつくれます。

- ①認知症や認知症ケアについて、専門職としての知識を深めるために内外の研修にとりくみます。
- ②職員間のコミュニケーションを深め、情報の共有に務めチームでご利用者の支援に努めます。

## 2. 提供する事業量の目標

月～土(営業日)の平均利用者数:9

## 主な年間スケジュール

月	行事	研修
4	お花見	緊急時の対応とマニュアルの見直し
	秋桜カフェ	倫理規定法令順守に関する研修
		プライバシーの保護
		職員服務規程(4/12全職員会議)
5	鯉のぼり	接遇について
	バラ園	
	家族懇談会	
6	運営推進会議	食中毒の発生予防と対応について
	秋桜カフェ	
	菖蒲・あじさい	
	さんぼみち	
7	七夕ソーメン流し	高齢者の虐待について
8	納涼祭	
	防災訓練	事故の発生・再発予防と対応について
	秋桜カフェ	
9	敬老会	身体拘束等排除に関する研修
10	ミニ運動会	
	秋桜カフェ	認知症と認知症ケアに関する研修
	運営推進会議	
11	紅葉狩り	インフルエンザ、ノロウイルス等感染予防
	さんぼみち	蔓延防止についての研修
12	秋桜カフェ	
	クリスマス会	
1	新年のお祝い	利用者アンケートのまとめ
	初詣	
2	出張寿し	非常災害時のたうおうについて
	豆まき	
	秋桜カフェ	
3	観梅	

# 星が丘デイサービスセンター

## 1. 平成 29 年度事業計画

### (1) 在籍利用者数の増加、在宅生活継続の支援

中重度者ケア体制加算算定しており、これからも特に要介護 3 以上の利用者を獲得していきます。

星が丘デイサービスで考えている中重度者のイメージを伝えながら、居宅事業所へ働きかけていきます。

また、要介護 3 以上になっても在宅生活を継続できるよう、健康面や身体機能での支援も行っていきます。

### (2) 「繋がるデイ」の継続

地域交流スペースを利用している方々を始めボランティア等の繋がりを大切に、地域住民が誰でも気軽に来られるような、サービスが開始しやすくなるような地域に開かれたデイサービスを目指します。

### (3) 認知症ケアや介助における知識を深める

認知症の利用者の増加、身体的に介助が必要な利用者が増加し、今まで以上に知識と経験が必要です。

内外の研修に参加し、どのような利用者にも柔軟に対応できるような職員を育成していきます。

## 2. 提供する事業量の目標

年間で1日平均21名(稼働率84%)

曜日により在籍のばらつきがあるので、安定した稼働率を目指します。



## 主な年間スケジュール

月	行事	研修
4	桜の花見(~上旬)	全体研修
5	菖蒲湯	
	おやつ作り	
6	よさこいイベント	感染症・食中毒の発生予防及びまん延防止研修
	外出喫茶	
7	七夕行事	
8	納涼祭(上~中旬)	
9	敬老祝賀会(中旬)	身体的拘束等の排除のための取り組みに関する研修
10	運動会	
	おやつ作り	
11	外出喫茶(中~下旬)	事故の発生予防又はその再発の防止、事故の発生等緊急時の対応に関する研修
12	ゆず湯	
1	初詣(上~中旬)	認知症と認知症ケアに関する研修
2	おやつ作り	
3	桜の花見(下旬~)	

# 星が丘高齢者支援センター

## (星が丘地域包括支援センター)

### 1. 平成 29 年度事業計画

第 6 期相模原市高齢者保健福祉計画の基本理念に基づきながら、星が丘の地域特性を活かし、相模原市高齢者支援センターの運営方針・重点目標の以下に取り組んでいきます。

- ① 総合相談業務における個別相談支援の強化
- ② 介護予防・生活支援サービスの適切かつ積極的な活用
- ③ 認知症の人及びその家族への支援の強化
- ④ 他職種協同による地域包括支援ネットワークの構築の強化と在宅医療・介護連携の推進
- ⑤ 一般介護予防事業の推進
- ⑥ 地域包括ケアシステムの構築及び深化に向けた地域づくりの推進

- (1) 職員全体のスキルアップを図り、相談援助業務の充実を図ります。  
内部研修、事例検討会、職員複数による訪問、ケース検討など援助業務の充実を図ります。
- (2) 「認知症を地域で支えよう」を目標に、予防から見守りまでを具体的に地域へ啓蒙していきます。また住民が自ら取り組むことができるような支援をしていきます。  
・現在ある資源の強化。・認知症カフェの充実。  
・認知症啓発漫画の冊子化による適切な認知症啓発
- (3) 生活支援コーディネーターと共に高齢に関する地域課題を具体的に地域ケア会議等を通じて解決をしていきます。
- (4) 介護予防に関する意識啓発、具体的な実施に向けて 住民自ら取り組むことができるように支援していきます。
- (5) 職員一人ひとりが責任を持って、各業務、事業実施を計画し、職員全員で協力し、より良い事業を地域へ提供し評価できるようにします。(PDCA サイクル)  
○職員のモチベーションが維持でき、健康に業務に従事できるようにします。  
○相模原市の受託業務として相模原市と連携を図りながら実施していきます。  
○住民と共に考え、創造し、継続できることを大切にしていきます。

## 2. 提供する事業量の目標

相模原市の委託事業であるため「提供する事業量の目標」は、委託契約の業務仕様書に準拠します。

### 主な年間スケジュール

月	日	会議	日	主催事業	日	依頼参加事業、外部研修、その他
4		まちづくり会議 地区社協総会		介護者カフェ ケアマネサロン 事例検討会 認知症カフェ		
5		まちづくり報告会 地区社協理事会		介護者カフェ ケアマネサロン 認知症カフェ		
6		まちづくり会議 地区社協理事会		介護者カフェ ケアマネサロン 事例検討会 認知症カフェ		夜間防災訓練
7		まちづくり会議 地区社協理事会		介護者カフェ グリーンワークの会 ケアマネサロン 認知症カフェ		
8				事例検討会 介護者教室 介護者カフェ ケアマネサロン		
9		まちづくり会議 地区社協理事会		認知症カフェ 介護者カフェ ケアマネサロン		町民運動会
10		まちづくり会議 地区社協理事会		事例検討会 介護者カフェ ケアマネサロン 認知症カフェ		星が丘フェスティバル
11		まちづくり懇談会		認知症カフェ 介護者カフェ ケアマネサロン		
12		まちづくり会議 地区社協理事会		認知症カフェ 事例検討会 介護者カフェ ケアマネサロン		
1		まちづくり会議 地区社協理事会		認知症カフェ 介護者カフェ ケアマネサロン		
2				認知症カフェ 介護者カフェ ケアマネサロン 事例検討会		
3		まちづくり会議 地区社協理事会		ケアマネサロン 介護者カフェ 認知症カフェ		

# 上溝高齢者支援センター

## (上溝地域包括支援センター)

### 1. 平成 29 年度事業計画

#### (1) 総合相談業務における個別支援体制の強化

様々な機会から高齢者の実態を把握し、アセスメントを行い適切な支援につなげます。センター職員間の専門性を生かしたチームアプローチを行っていきます。

#### (2) 介護予防・生活支援サービスの活用

生活支援コーディネーターとの連携を図り、多様なサービスの把握と活用をして介護予防ケアマネジメントを進めていきます。

#### (3) 認知症やその介護家族の支援

初期集中支援事業の活用や家族介護者教室などを通じて、本人・介護家族の支援をしていきます。

#### (4) 地域の関係機関との連携と地域づくりの推進

地域ケア会議の個別事例部会にて地域の高齢者の課題解決を模索しながら、地域づくり部会にて高齢者を支える仕組みや体制の課題を共有していきます。

#### (5) 一般介護予防事業の推進

地域介護予防事業を開催し、介護予防活動の普及啓発を行います。また百歳体操の普及に伴い、実施状況の把握や継続性を支援していきます。

### 2. 提供する事業量の目標

※地域包括支援センター事業は相模原市の委託事業であるため、  
『提供する事業量の目標』は委託契約の業務仕様書に準拠します。

## 主な年間スケジュール

月	日	会議	日	主催事業	日	依頼参加事業、外部研修、その他
4	18	地域ケア会議個別事例部会				田中サロン
5	24 20	地域ケア会議地域づくり部会 まちづくり会議			23	地区連
6		地域づくり検討作業チーム会議		家族介護者教室		
7		地域ケア会議個別事例部会	5	地域介護予防事業ひまわりの会		7ル7a医療福祉専門学校実習生受入れ24日間
8	28	ゆずの樹運営推進会議			29	前期ケアプラン点検
9	20	健康ふらす運営推進会議 地域づくり検討作業チーム会議		家族介護者教室		
10		地域ケア会議個別事例部会 地域ケア会議地域づくり部会			10	町田福祉専門学校実習生受入れ5日間 上溝福祉まつり
11		地域づくり検討作業チーム会議				本久ふれあいまつり
12				家族介護者教室	5	後期ケアプラン点検
1		地域ケア会議個別事例部会 地域づくり検討作業チーム会議				
2	26	ゆずの樹運営推進会議				
3		地域ケア会議地域づくり部会 地域づくり検討作業チーム会議				ボランティア感謝デー

# 居宅介護支援事業所

## 1. 平成 29 年度事業計画

(1) 居宅介護支援の実績を向上していきます。

新規の相談や依頼に対しては、迅速に対応していきます。

暫定プランやターミナルの依頼に対しても積極的に受け入れます。

高齢者支援センター開催のサロンなどに参加して、関係性を構築し受入れ範囲を広げていきます。

(2) 相談援助職としての力を付ける。

・聞く力や伝える力を付けるために、まず意見交換の場として居宅定例会議を有効に利用していきます。他者の考えを聞く、自分の考え・意見を分かりやすく伝える力をつけていくことを目標とします。

・外部の研修に積極的に参加します。参加することで意見交換時に積極的に発言できる力をつけていきます。

・聞く力や伝える力をつけることで、ケアマネジメントに生かしていきます。

## 2. 提供する事業量の目標

ケアマネジャー1人の担当件数35件/月を目指します。

### 主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4		10	
5	市集団指導講習会	11	本久・コスモスセンターふれあいまつり
6		12	
7	運営状況点検書作成	1	情報公表
8	介護支援専門員実務研修説明会	2	オリオン座
9	特定事業所集中減算報告書作成	3	特定事業所集中減算報告書作成 ボランティア感謝祭

# コスモスホーム

## 1. 平成 29 年度事業計画

(1) ホームご利用者がふつうの生活を取り戻せるよう、トイレでの排泄や自然排便を追及します。

①すべての介護職員・看護師・管理栄養士・生活相談員・医師が取り組み内容の「価値」を共通の目標とするまで、ケア主任・リーダーを中心に話し合います。

②今までの実践を基に「トイレでの排泄や自然排便」を行うための必要な 4 つのケア（水分ケア・食事ケア・排泄ケア・歩行）について、主任・リーダーを中心にあらゆる場面で学び続けます。

③「介護力向上委員会（仮称）を立ち上げ、下記の活動をします。

ア 委員会内で知識を共有し、現状把握（水分量や排泄チェック）現状分析をして4つのケアの関連性について理解を深めると同時に、全職員に必要な知識を発信します。

イ 取り組み内容の理解とコンセンサスを得たことを確認後、具体的な取り組みの準備をして実践を支援します。

- ・アセスメントシートや必要な記録・物品等の整備
- ・個別の利用者への取り組み方法、具体的な開始時期の検討
- ・必要となる介護技術等の研修企画・実施
- ・取り組みを可能にするための仕事の仕方を検討

ウ 成功事例を検証し、「トイレでの排泄や自然排便」の方法を確立させ、全職員と共有します。

(2) 新人職員の育成方法（バディ制度）を徹底します。

①「バディ」の役割、育成計画、評価や面接等の仕組みを明確にします。

②チェックシートを見直します。

## 2. 提供する事業量の目標

介護老人福祉施設平均入所人員数	53.5 人		
ショートステイ	平均稼働率	100%	平均利用人員数 16 人
全体	平均稼働率	100%	平均利用人員数 70 人

## 主な年間スケジュール

月	行事	研修
4	お誕生会	医療器具についての勉強会
	家族懇談会	緊急時の対応について
5	お誕生会	ターミナルケア研修
	菖蒲湯	
6	お誕生会	感染症委員会の研修(食中毒)
	テノールコンサート	排泄介助の勉強会
7	お誕生会	事故防止対策委員会の研修
	上溝まつりみこし渡御	
8	お誕生会	身体拘束ゼロの研修
	夕涼み会	口腔ケア研修
9	お誕生会	虐待防止についての研修
	敬老祝賀会	
10	お誕生会	感染症委員会の研修 (ノロウイルス・インフルエンザ)
11	お誕生会	事故防止対策委員会の研修
	利用者健康診断	
12	お誕生会	認知症ケアの勉強会
	ゆず湯	
	クリスマスコンサート	
1	新年祝賀会	褥瘡予防の研修
	お誕生会	
	初詣	
2	お誕生会	接遇研修
	豆まき	
3	お誕生会	記録についての勉強会
	出張寿司	

### バディ制度

バディ制度は、**先輩職員が新採用職員に法人の理念や仕事の基本姿勢や技術を教え、伝えていくとともに、そのことによって先輩職員ももう一度仕事の原点を確認して成長していくことを目指す制度**です。

いわゆる「チューター」「プリセプター」「エルダー」といった一般企業で使われている新人研修制度と同様の内容ですが、**上溝緑寿会では、先輩、後輩という関係性はあっても、特に「二人でともに助け合い、成長していくこと」を主眼とするため、「バディ(buddy)」という言葉を使うことにしました。**

(参考) Buddy の意味

- 1 仲間。相棒。
- 2 特に、スキューバダイビングなどで、二人(以上)が組んでいるときの相棒。



# コスモスハウス

## 1. 平成 29 年度事業計画

### (1) 個別支援シートの活用

- ①個別支援シートを利用し、ご家族・ケアマネ・関係機関と連携を取り、必要なサービスを組み合わせながら入居者が長くハウスで生活出来るような関わりを持つために活用して行きます。
- ②入居者の変化には柔軟に対応して行きます。

### (2) コスモスハウスの特色を理解し PR する

- ①コスモスハウスならではの良さや特色を再確認します。その上で、ケアマネジャーや高齢者支援センター・関係機関にひろく伝えていきます。
- ②見学や問い合わせの際、コスモスハウスならではの取り組みやその意味について説明、入居者や入居待機者の確保につなげて行きます。

### (3) 職員の能力を高める

- ①入居者の思いや状況を理解する力・観察する能力・対応する力・そしてつなげていく力を育てて行きます。
- ②研修会・勉強会に出席する機会を持ち情報を共有して行きます。

## 2. 提供する事業量の目標

入居者32名満室を目指す

### 個別支援シート

「大阪府社会福祉協議会 老人施設部会」が作成した「**入居者状態を見える化した個別支援シート**」です。

ご利用者の状態をレーダーチャート(円形のグラフ)で表示し、一人ひとりのご入居者の状態やその変化を分かりやすく表示することができます。

ご利用者に関わる職員・事業所、ご本人・ご家族と内容を共有し、適切なタイミングで必要な支援を検討、実施していくための支援ツールとして活用することが目標です。

## 主な年間スケジュール

月	行事	委員会・研修	月	行事	委員会・研修
4	お花見ドライブ	ハウス便り	10	グリア園見学ドライブ	ハウス便り
	山桜観桜会			遠出ドライブ	
	買い物ドライブ			映画会	感染症対策委員会
	出張にぎりずし			傾聴ボラ	
	傾聴ボラ		おやつ作り	バイタル測定	
5	鯉のぼり見学ドライブ	個別支援シート	11	インフルエンザ予防接種	食中毒及び感染症の防止並びに
	しょうぶ湯			結核検診	まん延のための研修
	バラの花見学	感染症対策委員会		コスモスふれあい祭り	
	おやつ作り			買い物ドライブ	
	傾聴ボラ		紅葉ドライブ		
6	あじさい見学ドライブ	ハウス便り	12	クリスマス飾り付け	ハウス便り
	買い物ドライブ	入居者懇談会		イルミネーション見学ドライブ	入居者懇談会
	コンサート	食中毒及び感染症の防止並びに		おやつ作り	事故防止委員会及び研修
	傾聴ボラ	まん延のための研修		買い物ドライブ	
	七夕飾り作り	バイタル測定	ゆず湯		
7	上溝祭り神輿渡御	虐待防止委員会及び研修	1	新年祝賀会	個別支援シート
	買い物ドライブ			新年会	
	傾聴ボラ			初詣	
	大賀ハス見学			鏡開き行事	
	夕涼み会(秋桜)		買い物ドライブ		
8	ハウス暑気払い	ハウス便り	2	節分行事	ハウス便り
	夏祭り			つるし雛見学ドライブ	
	料理	感染症対策委員会(熱中症について)		梅の花見ドライブ	感染症対策委員会
	盆踊り(星ヶ丘)			ひな人形作り	
	すいか割り		傾聴ボラ	バイタル測定	
9	お月見会	個別支援シート	3	雛祭り行事	事故防止委員会及び研修
	買い物ドライブ	入居者懇談会		お菓子作り	
	敬老祝賀会	事故防止委員会及び研修		買い物ドライブ	入居者懇談会
	秋刀魚パーティ			映画会	
	工作教室		傾聴ボラ		

### いきいき百歳体操

いきいき百歳体操は、高齢者の筋力向上を主な目的として高知市で考案された体操です。この体操は「重錘(じゅうすい)バンド」という重りを手首や足首に巻き、DVD で体操の映像を見ながら、椅子に座って手足をゆっくりとしたペースで行います。

コスモスハウスでは、相模原市のモデル事業に平成 27 年度から参加し、バンドや DVD の貸与を受け、ご利用者 10 数名が参加しました。

定期的な効果測定では、立ち上がりや歩行機能の改善などが見られ、参加するご利用者の意欲の向上が見られています。

# 栄養調理部門

## 1. 平成 29 年度事業計画

(1) 多職種協働による栄養管理を行い、利用者の状態の合わせた食事を提供する

①施設ケアプランとともに、栄養ケア・マネジメントを実施し、その内容を食事に反映させ、栄養状態や健康状態、食環境が良好に維持されるよう支援していきます。

②多職種との情報共有、連絡、調整と厨房内の伝達を円滑に行い、利用者の身体状況・生活状況を考慮した栄養管理と食事の提供を行います。

(2) ホウレンソウ(報告・連絡・相談)のできる職場、PDCA サイクルを回しながら継続的な品質改善のできるチームをつくる

①安全でおいしい食事を提供できるよう、大量調理施設衛生管理マニュアルを理解し、実施します。

②最新の介護食に関する情報を共有し、利用者の状況に合う食事の知識を高め、コスモスセンターの食事形態を確立します。

③コミュニケーションをとりながら、声を掛け、さまざまな方法を試しながら、効率の良い仕事を組み立てます。

## 主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	誕生会 出張にぎり寿司	10	誕生会 出張にぎり寿司
5	誕生会 端午の節句メニュー	11	誕生会 出張にぎり寿司
6	誕生会	12	誕生会 冬至メニュー クリスマスメニュー
7	誕生会 七夕メニュー 納涼祭	1	誕生会 新年祝賀膳 七草粥
8	誕生会 暑気払い	2	誕生会 節分メニュー
9	誕生会 敬老祝賀膳 十五夜メニュー	3	誕生会 桃の節句メニュー

# 総務事務部門

## 1. 平成 29 年度事業計画

### (1) 総務部門の強化

法人全体では約 220 名の職員が 6 拠点で業務を行っています。今年度は、ずっと我が家のショートステイが 40 床フルオープンを目指すなかで、職員確保が非常に難しい状況が続き、職員の働き方についても日々変化していきます。

これらを踏まえて、総務部門の強化として次のことに取り組んでいきます。

- ・職員が働きやすい環境整備に向けた規程類の見直しや設備改修を進めます。
- ・これまでは必要に応じて人材・物品・経費に関する情報を提供していましたが、各セクションの責任者へ定期的に情報提供できるように、業務内容や体制を見直します。
- ・運転員や宿直員をはじめとしたバックアップ部門の業務内容を見直します。
- ・各種法改正等に対応した規程類の整備を行います。
- ・上記の取り組みに向けて、各事務職員の役割を見直します。

### (2) 経理処理および経費管理の見直し

平成 27 年度以降、会計業務の業務委託実施や、新会計基準へ切替えを中心に進めてきましたが、平成 29 年度は更なる業務の効率化と、会計情報をフィードバックしていくことで、各セクションにおける経費管理の見直しができる体制を作ります。

### (3) 老朽化した施設・設備の更新に向けて

コスモスセンターが築 21 年を過ぎて、施設や設備の老朽箇所が多くみられることから、他の拠点も含めて、老朽化した施設や設備の更新作業を順次進めます。

### (4) 大規模災害および防災対策について

平成 28 年も熊本地震、東北や北海道を中心とした台風による被害、新潟県糸魚川での大規模火災等、様々な災害に見舞われた年になりました。東日本大震災からも 6 年が経過して、徐々に薄れつつある防災意識を改めて高めるとともに、災害対策に向けた防災マニュアルの整備や訓練の実施と、備蓄品の見直しを早急に進めていきます。

また、相模原市内の障害者施設でも大きな事件があったことから、防犯対策についても見直しを行い、国からの補助金等も活用しながら、防犯対策の強化を進めていきます。

## 主な年間スケジュール

月	内容	月	内容
4	職員採用	10	理事会
	雇用契約更新		上溝レクリエーション大会参加
	全職員会議		
5	理事会	11	菊花展
	法人決算業務		ふれあいまつり
	消費税申告		
6	理事会・評議員会	12	年末調整
	夜間想定避難訓練		クリスマスコンサート
	コンサート		
7	上溝夏祭・神輿渡御	1	法定調書作成・提出
	社会保険算定基礎届		第三者委員会
	労働保険料申告		
8	退職共済算定届	2	日中想定避難訓練
	救命救急・被服更新		
9	職員健康診断	3	理事会・評議員会
	敬老祝賀会コンサート		夜勤者健康診断
			ボランティア感謝デー